

魔女と南瓜と 戦乙女



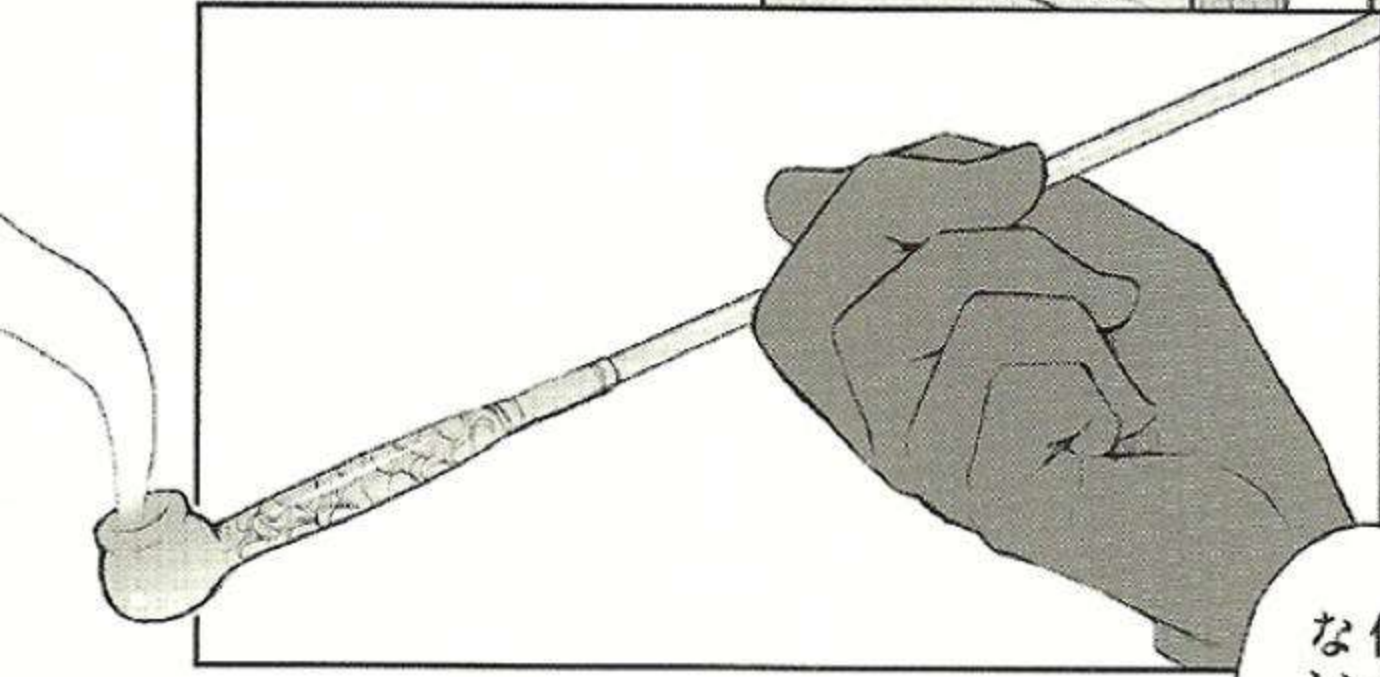
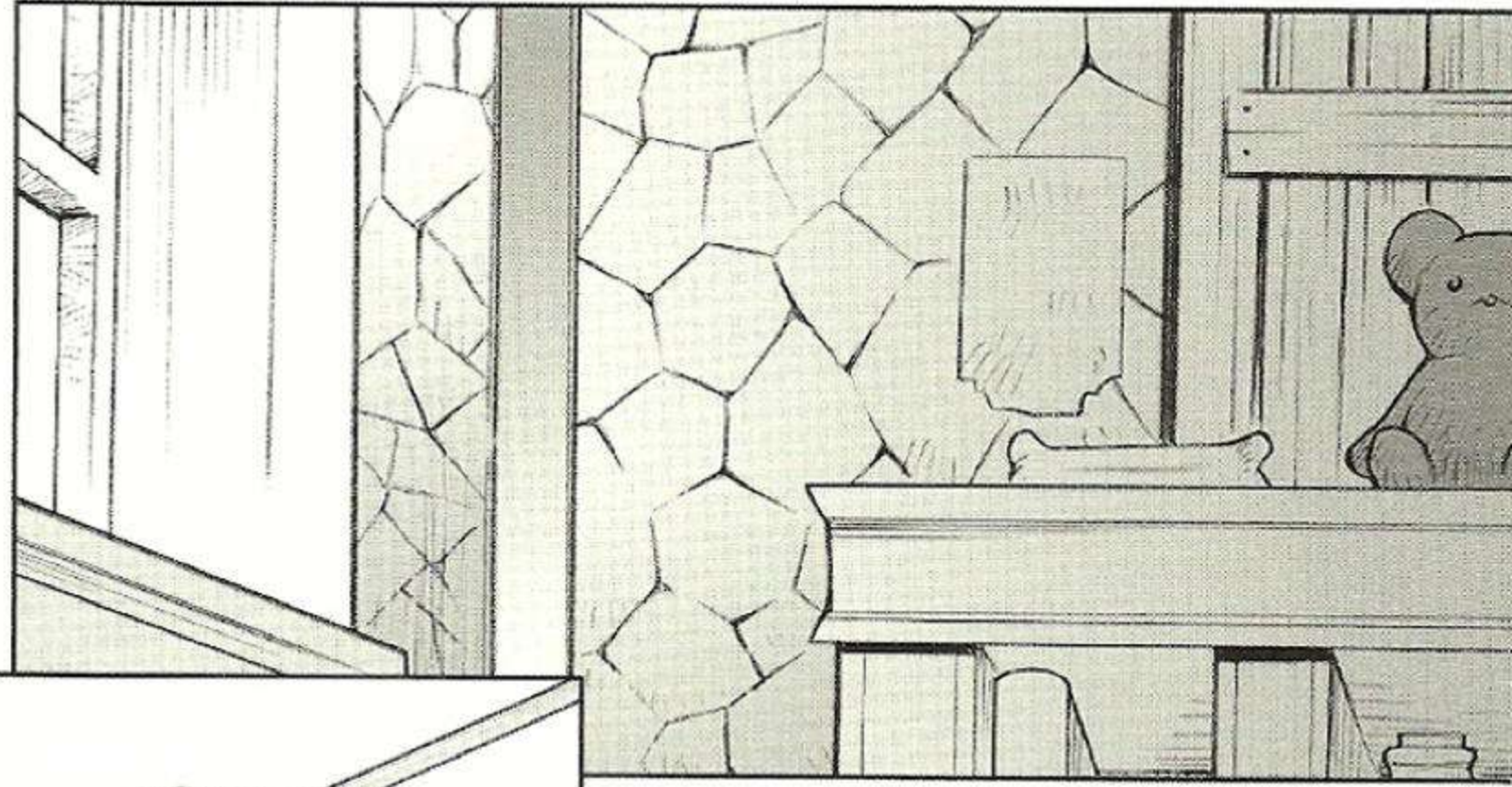
Tactics Ogre
運命の輪

Fan book

R-18
Adult Only!

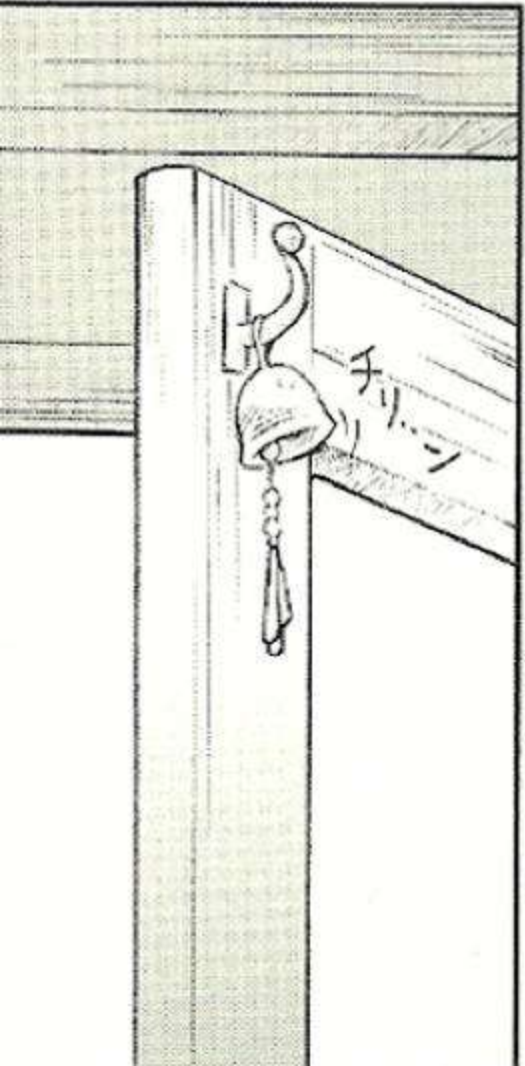
魔女と南瓜と 戦乙女





んー…暇ねエ

何か面白いこと
ないかしら〜



ささいさーん♥





何かご入用
かしら？

いえ…買い物
ではないの。



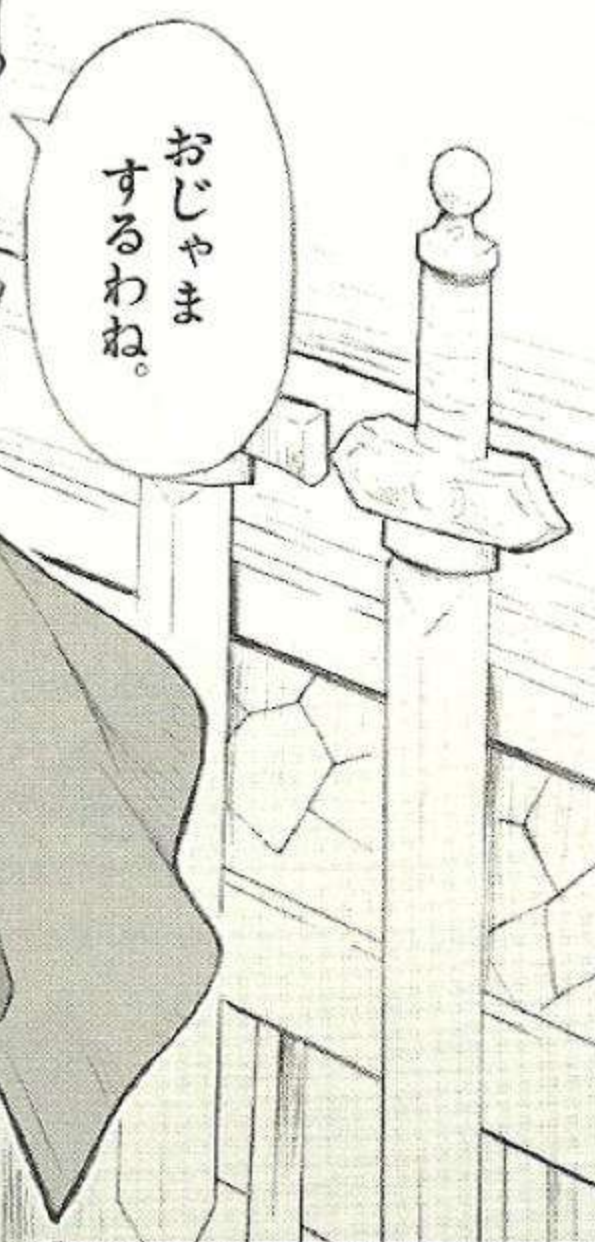
あらあ

めずらしい
お客様ね



…ちよっと

頼みたい事が……



おじやま
するわね。



え!?
頼み事?
私に？

何?何かしら
恋の悩み
とか?

いや…
そういうの
じゃ…



トイ

トイ…





でもでもッ
それは好きな人のために
とっておくものよ!

簡単に捨てるとか
言っちゃダメなんだから!

いいのよ...
きゅん...の...



あの人は...私の
予想以上に
成長して...

もう遠い存在に
なっちゃったわ...

それに、戦争に身を
投じているからには
敵に捕まって
慰みものにされる
可能性もある...



他人に奪われる
くらいなら...

ギョッ
いつそ自分から
捨ててしまった方が
マシだわ。

それって
つまり...

処女を捨てる
機会を逃したって
事かしら?



と、とにかく

あはれい、
お嬢さま。
こんな事
頼めるのは

貴女しかいないと
思っ...

...わかったわ。
とりあえず、奥に
行きましょ。



あ、監とか 外してね♡



ギシシ…
じゃあ…
引き受けて
くれるのね？

ん…あまり気が
進まないんだけどね〜



でも、引き受ける
からには
がんばるわ！

何かご希望の
シチュとか
あるかしら？

そ、そういうのは
いいから…

手早く終わらせて
欲しいのだけど…

そんなのダメよ!

ラヴィちゃんが
よくても、私が
許さないんだから!



...

ちゃんとね?
いい思い出しなきゃ
女の子だもの!

だから...
...ってあら?

もういいわ。

面倒くさく
なってきた...



え?

依頼主は私よ。
貴女の意向はいらないの。



待ちなさい!



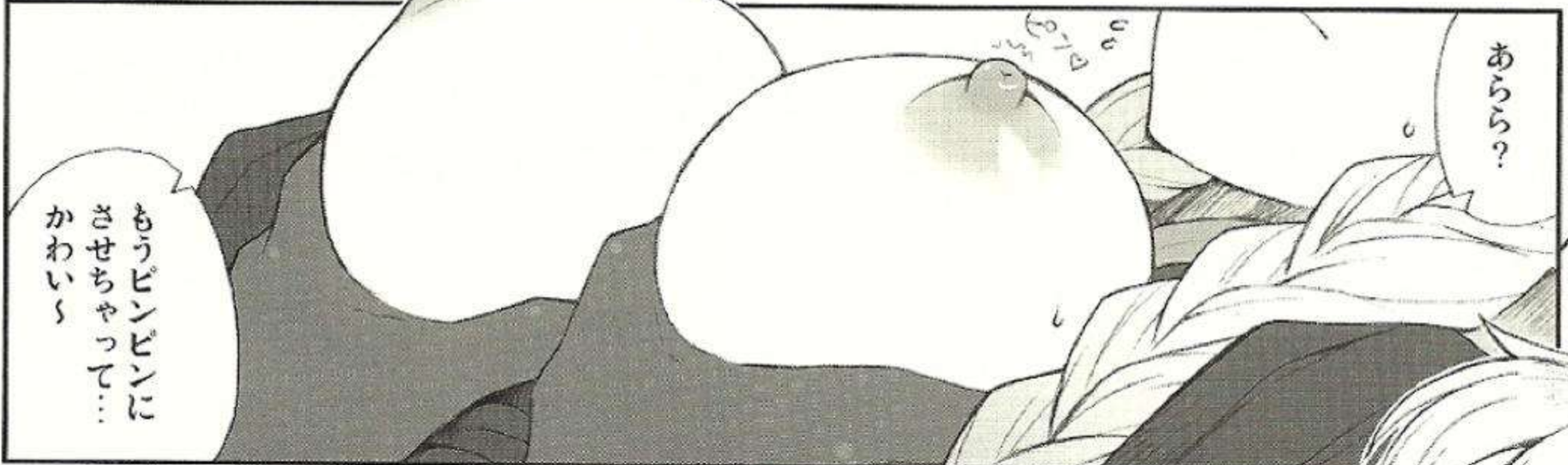
ん
ず
じ
ゆ
う

!?











ズル

じゃあー…
下着とか
ジャマよね★

軽くイッちやった？

ピクピク
ンンン…

あ…あ

んん処女の
甘酸っぱい香り♥

だッだめっ
見ないで…

でもほらあ
お汁が沢山
垂れてるわよ

ぱっ

え…あッ

やだ…

んん♥

いただきます。

はむん
はむん

ああッ

やめこ

やめッ





と、いうわけで
カボちゃんは
上お願いね。

やさしくよ？
いいわね？

……

わかったカボ。

ゴソソ

はいカボ。

ぬっ

!!



まさか かぼちやを
相手にしろと!?

ないわ!

ええ、かぼちや
かわいいのに

あ、
はい!

んもう……
困ったわねえ……

それじゃあ……

ハチンッ

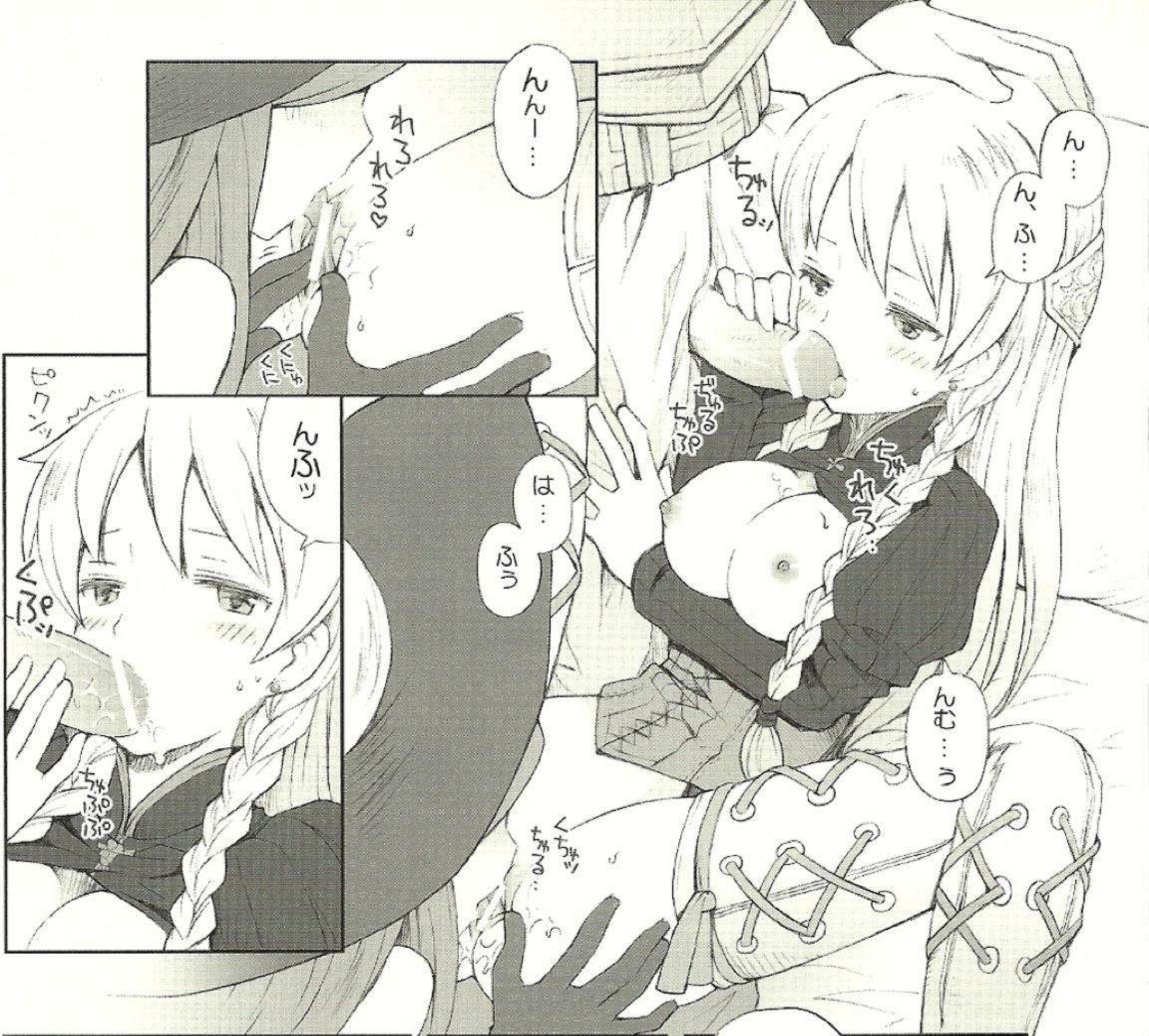
これなら
どうかしら？

ほっ
ふっ

!?









ふあ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

あ...

う...あ

で、出そう
カボ...ッ

あ...

早いわよッ
早過ぎー!

ちよッ
カボちゃん!



ス...

おかしいな...誰か
居ないんですか?



あの一
デネブさーん

んもお







決まりね
ささっ

えっ

あっ…

ちよ、ちよっと
待って下さッ…



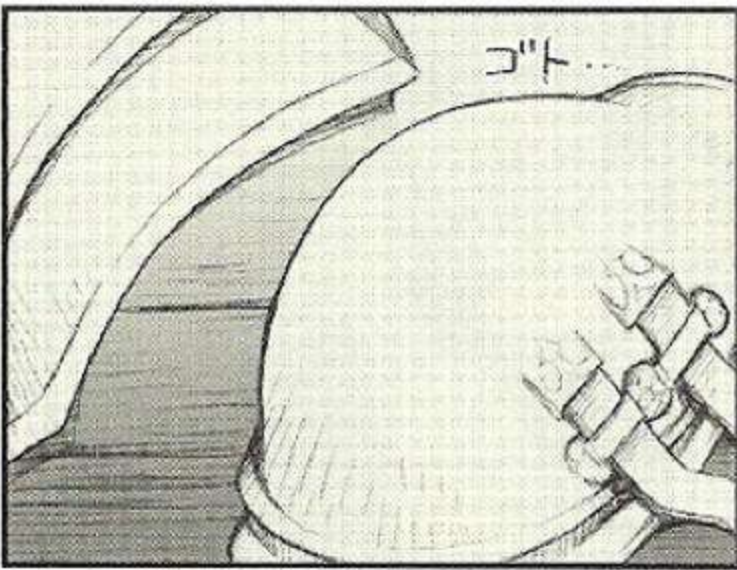
！

あらあら



デニムちゃん
もしかして
ガマン
してたの？

や…そのっ
僕だって
男ですからッ



ゴト…



よいこと？
初めてなんだから
やさしくね？

ラヴィちゃんは
力抜いててね♡



ラヴィニスさん…
本当に…
…いいんですね？

ええ…
貴方なら…

ラヴィニスさん…

どうなるかと思ったけど…何とか上手くいったみたいね。

よかったわ★

そう、そこよ♡
充分濡れてるから
楽だと思っわ。

ほーら♡

ん…あ…

あぁッ

どんどん
入ってくわよ♡

入ってくるの
わかるかしら？

あッ…

あ

あッ

あぁッ

ヌ
ヌ
ヌ





デニムちゃん
そろそろ
限界みたいね。

ラヴィちゃんも
...よさそうね♡



あーッ

デニム...

ラ、ラヴィニス
さ...んッ!



んあああ
.....
ッ



いいな
私も混ざりた
かったわ...

けど、野暮よね



...



なんだか...

重い空気
だわねえ...

ほろり



貴方を巻き込んで
しまつて...

ごめんなさい。

私が あんな事…
頼まなければ…

勝手だけど、この事は
無かった事にして
ちようだい。

そんな…
ラヴィちゃん…

いやですよ。

僕は、ラヴィニスさんと
こうなれてよかったと
思っています。

ラヴィニスさんだって
いいって言って
くれたじゃないですか。
嘘だったんですか？

嘘ではないけど…

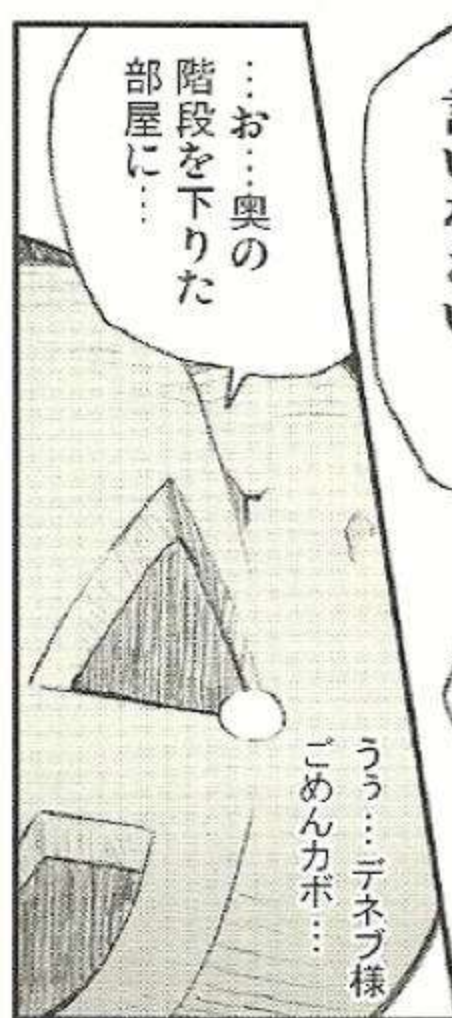
こうなるのだったら…
もっと 貴方とちゃんと
付き合おうべきだった…
…自分が情けなくて…

……

……



一方その頃：



お疲れ様でした。
ここまでお付き合い下さって有難うございました。
また、次の本でお会いできれば、これ幸いです。





魔女と南瓜と
戦乙女

発行日 2011/08/12

発行者 B.tarou

E-mail bbrs@shirayuki.saiin.net

印刷 日光企画

無断転載、web へのアップロード
未成年の閲覧はお止め下さい。



魔女と南瓜と
戦乙女



2011.B.tarou